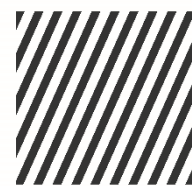


地域活動の活性化に向けたワークショップ

庄栄地区ニューズレター

Vol.01 令和4年9月

次なる
茨木へ。



庄栄地区では、「コロナでストップしたコミュニケーションを復活させよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年8月28日（日）に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。

ワーク1：お互いのことを知ろう

ワーク1では「活動紹介シート」を使って、まずはグループのそれぞれのメンバーのことを知るところからスタートしました。活動紹介シートには、「これ知って!」、「良かったなあ!」、「庄栄地区の良いところ!」、「これが悩み!」、「庄栄地区の課題」などの項目があり、グループのメンバーが庄栄地区に対して普段感じている本音を共有しました。

庄栄校区 活動紹介シート

団体名： _____ 名前： _____

これ知って!
知ってほしい活動
自慢できる・特徴的な活動

良かったなあ!
活動していてよかったと
思うこと・できごと

庄栄校区の
良いところ!
活動していて感じる
庄栄校区の魅力

活動の悩み
これが悩み!

他の団体や住民と
一緒に取り組みたいこと
連携したいこと
助けてほしいこと

活動していて感じる
庄栄校区の課題

庄栄校区の課題

◆第1回実施概要

日時 2022.8.28（日）18:00~20:00

会場 庄栄コミュニティセンター

参加者数 25人

プログラム

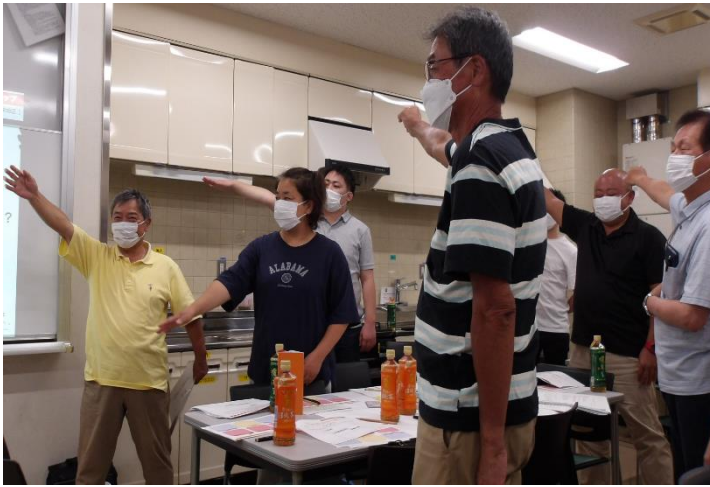
- 1 会長挨拶
- 2 ワークショップ趣旨説明
- 3 手上げゲーム（アイスブレイク）
- 4 グループごとに自己紹介
- 5 ワーク①:お互いのことを知ろう
- 6 ワーク②:庄栄地区のこれからを考えよう
- 7 グループ発表（全体共有）

○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	庄栄校区の今「良さ・良かったこと」	庄栄校区の今「課題・困ったこと」
1	・地域内の繋がり ・子どもとのふれあい ・子育てのしやすさ	・今の活動をどう継続させていく？ ・自治会員の減少が心配（災害時など）
2	・住みやすさや利便性 ・公園がキレイ ・地域のことを熱く考えている人が多い	・人・コミュニティの希薄化 ・防犯・交通安全面の課題
3	・人や人情 ・交通利便性 ・子どもの見守りや防犯	・地域組織の役員の担い手不足 ・コロナ禍での活動の停滞
4	・高齢者向けの活動が盛ん ・活発な地域活動 ・地域活動の多様さ	・自治会運営の負担 ・老人会や子ども会の廃止 ・地域活動に対する負担感

ワーク2：庄栄地区のこれからを考えよう

ワーク1でお互いのこと知った後、ワーク2では、**もっとこうなってほしい・こんなことがしたい**という、**庄栄地区の将来像**について意見を出し合い、最終的にもっと深めていきたい**4つのテーマ**が導き出されました。



○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	庄栄地区に将来こうなってほしい・こんなことをしたい
1	<ul style="list-style-type: none">・災害対応に備えて、災害時行動シミュレーションをしてみよう。・子育て世代と地域との接点をもっと増やしていきたい。・今の若い人は忙しく、共働きも多い。若い人に合った地域とのつながり方を考えよう。
2	<ul style="list-style-type: none">・考え方を変えてチャレンジ！新発想でつくるふるさと祭りを考えよう。・過去の活動にとらわれない新しい活動を発掘。・地域の繋がりをもっと増やしたい。特に子どもや子育て世代の親と地域のつながり。
3	<ul style="list-style-type: none">・大学生や単身者とももっと関わっていききたい。・老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所があってほしい。
4	<ul style="list-style-type: none">・子どものうちから地域活動に参加する仕掛けづくり・地域の防災力をもっと高めたい（庄栄は自主防災会がない）

○第1回ワークショップで導き出された、もっと深めたい4つのテーマ

「子育て・子育て」

「地域の居場所づくり」

「にぎわいづくり」

「安全・安心」

次回ワークショップは**9月25日（日）**。もっと深めたい4つのテーマについて、現状や課題を出し合った上で、**課題を解決するための、もっと楽しく続けていくためのアイデア**を出し合うワークショップを行います。